

学校: 枚方市立楠葉西中学校

指導者: アンディ ブキャナン、大西 千鶴、西野 崇仁

1. 日時: 2月24日(月) 6限目

2. クラス: 2年1組 (男子21人、女子18人)

3. 教科書 NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2 (総復習)

4. 本時のねらい

- (1) フォニックスの学習を通して、英語を読む力を向上させる。
- (2) ひとつのトピックについてペアの意見を聞き、自分の意見を述べることができる。
- (3) 教科書を使って、オリジナルクイズを作ることができる。また友だちのクイズを聞いて理解し答えることができる。

5. 本時の評価

(1) 英語に対する関心・意欲・態度

言語活動に積極的に参加する。

(2) 表現の能力

自分の意見を友達に話したり、友だちや自分の意見を書いたりすることができる。

(3) 理解の能力

先生の指示や友達の話を正確に聞き取ることができる。

(4) 言語の知識・理解

英文法や単語等の知識を正確に理解している。

6. 生徒観

2年1組の生徒は活発なタイプのクラスではないが、英語を話すことに興味を持ち、NETのアンディとコミュニケーションを図ることが大好きである。しかし、自信のない生徒も多いため、授業では彼らに自信を持って活動をさせるように働きかけてきた。また、英語を話すことには積極的な生徒も、書くことになると苦手意識を持っている生徒が多くいるので、机間指導をしながら適宜アドバイスすることを心がけている。生徒たちは男女とも仲がよく、お互いに助け合い学び合いができる。

7. 指導観・教材観

生徒に教科書を教えるだけでなく、日常的に使える英語の力を身につけさせるために、授業の最初に「ワン・ミニット・チャット(1分間英会話)」や「ディベート」活動を年間通じて取り上げてきた。教科書を教えるのではなく、教科書で教えることを意識して、T.T.で指導している。また、生徒の理解を助けるための補助教材として、必要に応じて自作パワーポイントや書画カメラ、ICレコーダー等のICT機器を活用している。

8.教材

- | | | | |
|--------------------|----------------|-----------------|------------------|
| (1) パソコン | (4) タイマー | (7) スピーカー | (10) マーカー |
| (2) プロジェクター | (5) TSD ワークシート | (8) TQQT ワークシート | (11) マーカー消し |
| (3) Andy's tickets | (6) IC レコーダー | (9) ポイントカード | (12) パワーポイントファイル |

9. メモ

- (1) 'Andy's tickets' …年間を通して、発言や活動のご褒美として配られるロトチケット。生徒はもらったチケットに名前を記入し、抽選箱に入れておく。年度末に抽選で選ばれた生徒はNET から賞品がもらえる。
- (2) 'バディ'…英語の授業でのペア。そのペアは年間を通じてお互いを助けあう。
- (3) 生徒は自分の名札を授業の前に付け、授業後に戻す。

10. 年間指導項目(文法)

- | | |
|--------------------------------|--|
| ・ 過去形 | 肯定文や疑問文 |
| ・ 過去進行形 | 肯定文、否定文や疑問文 |
| ・ S+V+C(現在・過去形) | 肯定文や疑問文 |
| | 例) He looks happy. How does he like? |
| ・ 未来形(be going to V) | |
| ・ How long ...? | |
| ・ S+V+O+O | 例) Aya showed Tom some pictures. |
| ・ S+V+O+C | 例) We call it a moai. |
| ・ 不定詞 (to V) | 例) I use a computer to play games.
Emi went to library to study English.
I want to find some e-pals. |
| ・ have to, don't have to (条件節) | |
| ・ will (助動詞) | |
| ・ must, must not (助動詞) | |
| ・ if (接続詞) | 例) If you can go, please tell me. |
| ・ that, when, because (接続詞) | 例) I think that we need a parking area.
People complained when a bike fell on Kumi.
I am against the plan because we need our parks. |
| ・ There is/are | 肯定文・疑問文 |
| ・ 動名詞 | 例) I enjoyed playing tennis. |
| ・ 比較・最上級 | 例) Godzilla is stronger than King Kong.
Godzilla is the strongest of all monsters.
They fly as high as a bird. |

11.本時の展開

学習内容 (時間)		生徒の活動	教師の支援	評価
あいさつ (15 秒)		元気にあいさつをする	あいさつをする	
導入 (7フィックス クイズ) (3分)	NWQ (New Words Quiz)	パワーポイントに映し出された進 出単語を見て、どのように発音する のかをバディで話し合う。 先生に指名されたペアが答える。	新出単語を見せて生徒に読み方を たずねる。 生徒を指名して答えさせる。 正答の生徒に Andy's ticket を渡す。	(1)
ディベート (30 秒 ディ ベート) (7 分)	トピック (Summer vs. winter)	バディ同士で机を向い合せる。 最初の生徒が与えられたトピック について自分の意見を言う。 バディはそれを 30 秒間聞きメモを 取り、反論する。	生徒のディベートの様子を録音 する。	(2) (3)(4)
ディベート レポート (5 分)	レポート 記入(3 分)	本日のトピックについてレポート を書く。	録音していたディベートを再生し、 アドバイスを与える。	(2) (3)(4)
	発表 (2 分)	2 人の生徒がそれぞれに書いた レポートをクラスに読む。 他の生徒は、レポートを聞き、 NET の質問に答える。	生徒の発表に関連した質問をする。 正答の生徒に Andy's ticket を渡す。	
TQQT (Textbook Quiz Question Time) (32 分)	説明 (2 分)	NET の話を聞きルールを理解 しようとする。	アクティビティの進め方を説明し て、見本を見せる。	(2) (3)(4)
	グループ作り (30 秒)	4 人ひとグループになる。	カウントダウン。	
	クイズ作り (6 分)	教科書を使って、オリジナル問題を 作成する。	必要に応じて机間指導、アドバイ スを与える。	
	質問に 対する ポイント 選び (3.5 分)	どの質問がどの点数に値するかを 決める。 ・Hardest 40 points ・Hard 30 points ・Easy 10 points	オリジナルクイズを難易度に 分けて、点数を決める方法を説明 し、見本を見せる。 必要に応じてアドバイスを与える。 時間をはかる。	
	クイズタイム (20 分)	順番に問題を出し他の班は答える。 一番点数を取った班が勝ち。	班に指示を出し、質問に答え させる。 答える班を指名する。 正答した班にポイントを与える。	
まとめ (2.5 分)	表彰	各グループ何点取ったかを NET に 報告し、ポイントカードを NET に 返す。 机を元に戻す。	優勝チームに Andy's ticket を渡す。	
あいさつ (15 秒)		元気にあいさつをする	あいさつをする	